

# エネルギーデトックスワーク スキルアップセミナー

---

Ver:1.02



エネルギーデトックスワーク協会

<https://energydetox.work/>

# 内容

1	エネルギーデトックスワークとは	3
2	エネルギーワークについて	5
2.1	エネルギーの知覚について	5
	エネルギーワークに関するポイントまとめ	6
2.2	エネルギーの扱い方について	7
	《ワーク》 エネルギーを流す&エネルギーを知覚する	8
	《ワーク》 歪んだエネルギーを体験する	8
3	エネルギーデトックスワークの実践	9
3.1	エネルギーデトックスワークの流れ	9
3.2	【BLESS YOU】ブレスレットについて	10
3.3	エネルギーの糸を入れる位置について	11
3.4	エネルギーの糸を入れる際のポイント	12
3.5	エネルギーの糸を入れた後のポイント	13
3.6	エネルギーの糸を引き抜く時のポイント	13
	[スキルアップ!] 効果的なエネルギーの糸の入れ方	13
	(コラム) その他のポイント	14
3.7	浄化のやり方	15
	《ワーク》 ブレスレットの有無による浄化効果の違い	16
3.8	ヒーリングの併用について	17
	《ワーク》 意図だけで複数のエネルギーを流し分ける	17
3.9	繰り返しの回数について	18
	[スキルアップ!] 繰り返し施術を行う	18
4	エネルギー的な施術を行う際の「リスク」について	19
4.1	抜いたエネルギーの取り扱いについて	19
4.2	プロテクションについて	19
	《ワーク》 プロテクションを行う	19
4.3	エーテルコードについて	20
	《ワーク》 エーテルコードのカットを行う	20

**本テキストで紹介しているワークは、講師のサポートを受けた上で、セミナー中にのみ行ってください。**

(セミナー中は、『場のエネルギーの調整』などを行い、安全にワークを行うための環境を整えています。)

講師のフォローの無い状態で、ワークに不用意に取り組むと、場に残った残存エネルギーを取り込んだり、他者からのネガティブなエネルギーを受けたり、自分のネガティブなエネルギーを他者に送り込んでしまったりする可能性があります。

# 1 エネルギーデトックスワークとは

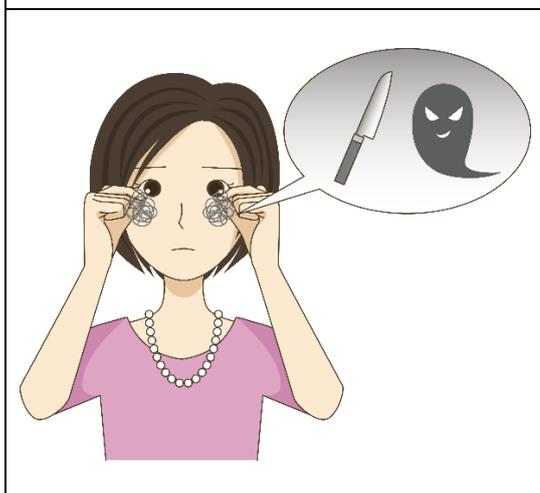
【エネルギーデトックスワーク】は、『体内の不要なエネルギー（残留エネルギー）を抜くワーク』です。

『エネルギー的な毒素』は、『物理的なデトックス』だけでは”排出できない”もの。

【エネルギーデトックスワーク】を行うことで、『目に見えない不要なエネルギー』に対処することができます。



「聞きたくなかったのに聞かされた言葉」のエネルギーを抜く  
→抜いた後の『聞こえ方』が違って感じる！



「見たくないのに見てしまった不快な映像」のエネルギーを抜く  
→抜いた後の『見え方』が違って感じる！



「本当は言いたかったのに飲み込んだ言葉」のエネルギーを抜く  
→抜いた後の『喋りやすさ』が違って感じる！

エネルギーデトックスワークは、『ワークを行う位置』によって、それぞれ違ったものを抜くことができます。

例えば、

「こめかみからエネルギーの糸を入れると、頭痛の原因となっているエネルギーをデトックス」

「目から入れると、見たくないのに見てしまった様々な光景や、ホラー映画などのエネルギーをデトックス」

「耳から入れると、聞きたくないのに聞かされたネガティブな話のエネルギーをデトックス」

と、いった感じです。

(その他、エネルギーデトックスワークで抜くことができる『不要なエネルギー』の例)

- 原因不明の頭痛に対する『痛みのエネルギー』
- スマホを長時間観た後の『光によるダメージのエネルギー』
- 職場や住環境で聞き続けた『雑音のエネルギー』
- 食事経路で摂取してしまった『添加物等の残留エネルギー』
- ピルなどを長期間飲んだ後の『薬の残留エネルギー』

一度のワークを行うだけでも効果はありますが、同じ箇所に対して10回~20回と徹底的に繰り返すことで、深く染み込んでいた不要なエネルギーを手放すことができます。

また、エネルギーデトックスワークとヒーリング（エネルギーワーク）とを交互に行うと、よりパワフルに、不要なエネルギーを抜くことが可能です。

なお、

「エネルギーデトックスワークで対応できるのは、あくまでも、不要なエネルギーに起因するものだけ」

であり、

「物理的な要因・原因に対しては、別途、物理的な対処（従来通りのデトックスなど）が必要」

ですので、

ワークの特性と効果を正しく理解し、適材適所で活用していくことが大切です。

## 2 エネルギーワークについて

---

### 2.1 エネルギーの知覚について

仮に、「力量・知識量がほとんど同じの、2人のセラピスト」がいたとして・・・  
以下の条件なら、どちらが「より良い施術」をできそうでしょうか？

- Aさんは、目を開けて、耳で聞いて、体感覚にも注意を払って施術
- Bさんは、目を閉じて、耳も塞いで、体感覚にも注意を払わず施術

・・・普通に考えれば、当然、Aさんの施術の方が効果を期待できるでしょう。

エネルギーデトックスワークを行うにあたって、

- エネルギーの知覚ができる人
- エネルギーの知覚ができない人

というのは、上記のAさん・Bさんと同じくらいの「差」があるものです。

幸い、エネルギーの知覚は、ちょっとしたコツさえ掴めばそれほど難しいことはありませんし、  
(セルフワークに限って言えば、) 知覚の精度が多少低くてもさほど問題ありません。

このセミナーは、あくまでも『セルフワークに関するスキルアップ』が目的ですので、  
あまりエネルギーワークに関する突っ込んだ内容までは踏み込みませんが、  
基本的なエネルギーの扱い方に関しては知っておくと何かと便利なので、この章で少しだけ取り上げます。

なお、次ページでは、エネルギーワークのポイントをまとめてありますが、  
セルフワークの際に必要な情報は、この中のごく一部だけですので、  
「なんとなくこんな感じなのかー」程度で留めてもらって構いません。

(世の中のスピリチュアルコンテンツは、誤った情報が多いので、それらに惑わされないためのものです)

## エネルギーワークに関するポイントまとめ

- エネルギーワークと、スピリチュアルワークとは、厳密には別のもの
- エネルギーデトックスワークは、エネルギーワークである
- エネルギーデトックスワークは、スピリチュアルワークではない
- エネルギーワークは、技術であり、再現性がある
- エネルギーワークの世界においても、他の業界と同様に、技術力の高さと人格の高さは無関係である
- エネルギーワークの世界では、『意図』や『イメージ』が重要
- エネルギーは、掴んで動かすことができる
- エネルギーを流すときに、流す側が力むと、エネルギーは歪む
- エネルギーを流すときに、流す側が結果をコントロールしようとする、エネルギーは歪む
- エネルギーを流すときに、受ける側が拒むと、エネルギーは歪む
- エネルギーを通しやすいものもあれば、エネルギーを通しにくいものもある
- エネルギーの知覚力には個人差が大きい
- エネルギーの知覚力はトレーニングによって伸ばすことができる
- エネルギーの知覚タイプは、大別して、『視覚タイプ』『聴覚タイプ』『体感覚タイプ』がある
- エネルギーの知覚は、思い込みによって容易に歪む
- エネルギーワークの体感の大きさと、エネルギーワークの効果は、無関係
- エネルギーは偽装することができる
- ポジティブなエネルギーは『統合』の性質を持つ
- ネガティブなエネルギーは『分離』の性質を持つ
- エネルギーは、肉体寄りの『低次エネルギー』と、宇宙寄りの『高次エネルギー』がある
- エネルギーの世界で言う高次・低次は、振動数（役割）の違いによる区分であり、優劣の話ではない
- エッセンシャルオイルの持つエネルギーの性質は、高次エネルギーとも低次エネルギーとも異なる
- 高次エネルギー的な問題は、高次エネルギーで対処できるが、低次的アプローチでは対処しづらい
- 低次エネルギー的な問題は、低次的アプローチで対処できるが、高次エネルギーでは対処しづらい
- 高次エネルギーと低次エネルギーを混ぜると、エネルギーが歪む
- 高次エネルギーと低次エネルギーを混ぜずに並列に扱えば、各々の効果を正に発揮できる
- 正しい意図を行っても、『エネルギーの源泉』と繋がっていなければ、質の高い高次エネルギーは扱えない
- 『アチューンメント（伝授）』を受けることで、高次エネルギーワークの源泉と繋がることできる
- 高次エネルギーワークの源泉自体が潰れたり落ちたりすることもある
- 扱える高次エネルギーの『質』は、アチューンメントの時点で決まり、トレーニングでは伸ばせない
- 扱える高次エネルギーの『量』は、トレーニングで増える他、アチューンメントで増やすこともできる
- 質の低いエネルギーであっても、それ以下の波動の人・物に対しては、プラスの効果として働く
- 質の高いエネルギーであっても、それ以上の波動の人・物に対しては、マイナスの効果として働く
- エネルギーを物に入れることができる
- エネルギーを物に入れる際に、特別な処置をしなければ、そのエネルギーはだんだんと抜けていく

## 2.2 エネルギーの扱い方について

エネルギーデトックスワークにおける以下のステップは、実はまさに、エネルギーワークそのものです。

- 『指先から、身体の中に、「不要な要素を絡め取るエネルギーの糸」を送り込むイメージ』をする
- 『エネルギーの糸を、頭のとっぺんからつま先まで張り巡らせるイメージ』をする
- 『エネルギーの糸に、疲れや痛み、不要なエネルギーが染み込んでいくイメージ』をする

エネルギーワークを行うにあたっては、『イメージ』『意図』がカギになります。

極論すれば、「エネルギーを流す」という『意図』をするだけで、誰でもエネルギーを流すことができますが、『扱うことができるエネルギーの質』や『扱うことができるエネルギーの量』を高めるためには、相応の手続きやトレーニングが必要であり、一筋縄ではいきません。

「エネルギーを流せること」と「実用レベルのエネルギーワークを行えること」は、全く別なのです。

また、『浄化』や『ヒーリング』などもエネルギーワークであり、施術者の力量差が大きく出ます。

特に、「エネルギーデトックスワークで抜いた不要なエネルギーをきちんと浄化できるか」というのは、エネルギーデトックスワークの施術において、とても大事なポイントになります。

とはいえ、こうした『エネルギーワークにおける力量の問題』は、【BLESS YOU】ブレスレットを使うことで、大半が解決できます。

そのため、このセミナーへの参加条件として、【BLESS YOU】ブレスレットが必須という形になっています。

なお、他者に施術をする際は、**エネルギーの流し手が力んだり、結果をコントロールしようとしたり、あるいは受け手から拒まれたり**すると、たとえブレスレットを使っていたとしても、**エネルギーは歪んでしまいます。**

ですから、『エネルギーの正しい扱い方』を十分に理解・体得しておくことは望ましいことなのです。

《ワーク》 エネルギーを流す&エネルギーを知覚する

このワークは、『エネルギーを流す役』『エネルギーを受け取る役』の、2人のペアで行います。

流す役の人は、「エネルギーを流します」と『意図（宣言）』してください。

受け取る役の人は、流されたエネルギーに対する以下の印象を答えてみましょう。

- 「エネルギーを色で言うと？」
- 「エネルギーを形で言うと？」
- 「エネルギーを音で言うと？」
- 「エネルギーを体感覚で言うと？」

一通り答えたら、役割を交代して、再度、ワークを行ってください。

《ワーク》 歪んだエネルギーを体験する

このワークは、『エネルギーを流す役』『エネルギーを受け取る役』の、2人のペアで行います。

流す役の人は、「エネルギーを流します」と『意図（宣言）』し、リラックスしてエネルギーを流します。

しばらくエネルギーを流したら、今度は、「力んで」「自分が頑張るって相手を癒そうとして」みてください。

流す役の人・受け取る役の人ともに、エネルギーの知覚の変化を感じたら、

流す役の人は、再度、リラックスしてエネルギーを流し、変化を感じてみてください。

エネルギーの感覚が元に戻ったら、今度は、受け取る役の人が、途中で「受け取りたくない！」と思って拒んでみてください。

流す役の人・受け取る役の人ともに、エネルギーの知覚の変化を感じたら、

受け取る役の人は、再度、リラックスして受け取り、変化を感じてみてください。

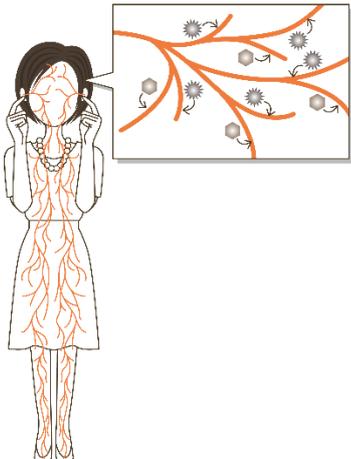
一通り終わったら、役割を交代して、再度、ワークを行ってください。

### 3 エネルギーデトックスワークの実践

#### 3.1 エネルギーデトックスワークの流れ

エネルギーデトックスワークのやり方は、次の通りです。

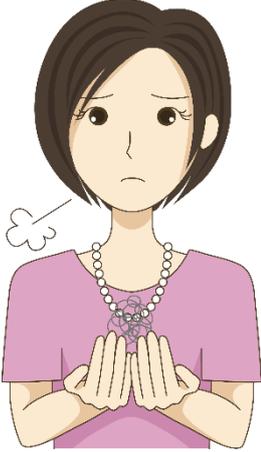
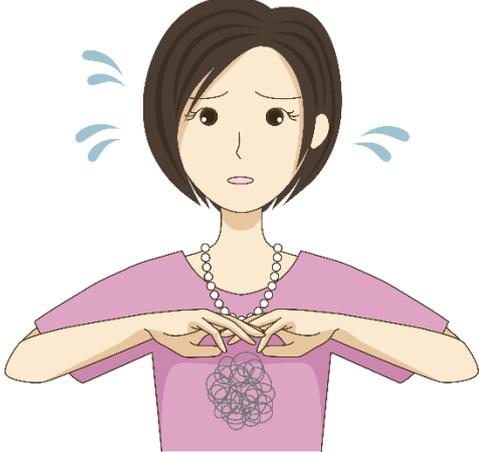
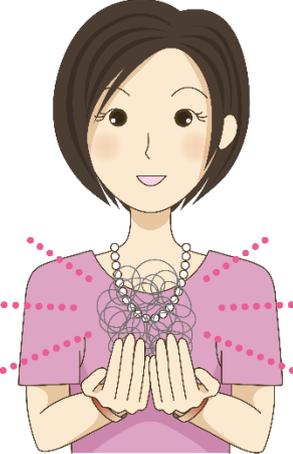
1. 疲れや痛み、不要なエネルギーなどを抜きたい部分に、指先を当てる
2. 『指先から、身体の中に、「不要な要素を絡め取るエネルギーの糸」を送り込むイメージ』をする
3. 『エネルギーの糸を、頭のとっぺんからつま先まで張り巡らせるイメージ』をする
4. 『エネルギーの糸に、疲れや痛み、不要なエネルギーが染み込んでいくイメージ』をする
5. エネルギーの糸をゆっくり引き抜く
6. 引き抜いたエネルギーの糸を、『浄化』する

 <ul style="list-style-type: none"> <li>・目</li> <li>・耳</li> <li>・鼻</li> <li>・口</li> <li>・こめかみ</li> <li>・肛門</li> <li>・性器</li> <li>など</li> </ul>		
<p>疲れや痛み、不要なエネルギーなどを抜きたい部分に、指先を当てる</p>	<p>『指先から、身体の中に、「不要な要素を絡め取るエネルギーの糸」を送り込むイメージ』をする</p>	<p>『エネルギーの糸を、頭のとっぺんからつま先まで張り巡らせるイメージ』をする</p>
		
<p>『エネルギーの糸に、疲れや痛み、不要なエネルギーが染み込んでいくイメージ』をする</p>	<p>エネルギーの糸をゆっくり引き抜く</p>	<p>引き抜いたエネルギーの糸を、『浄化』する</p>

### 3.2 【BLESS YOU】ブレスレットについて

【BLESS YOU】ブレスレットは、エネルギーデトックスワークをサポートするためのエネルギーグッズで、『不要なエネルギー抜き』『浄化』『ワークを補助するためのヒーリング』などの機能を備えています。

通常エネルギーワークでは対処しづらい『抜いた後のエネルギーの浄化』も、このブレスレットなら、カンタンかつ確実に対処できます。

	
ブレスレットを使わない場合の抜け方（少量）	一般的なやり方による浄化（大変）
	
ブレスレットを使った場合の抜け方（大量）	ブレスレットを使った場合の浄化（楽々）

エネルギーデトックスワークを行う際に、ブレスレットを身につけることで、効果が発揮されます。

なお、このブレスレットには、自動浄化機能が組み込んでありますので、ブレスレット自体の浄化は不要です。

### 3.3 エネルギーの糸を入れる位置について

エネルギーデトックスワークを行う際には、人体の「穴」からエネルギーの糸を入れるようにしましょう。

- 目
- 耳
- 鼻
- 口
- 性器
- 肛門

人間の肉体は、比較的エネルギーを通しにくい性質があるため、穴以外から抜こうとすると、抜きにくいのに加え、施術相手のエネルギー体に大きな負荷が掛かります。

また、エネルギーの経路には容量（道幅）があるので、毛穴から抜くのも厳しいと言えます。

そのため、例えば、『のど』に詰まっているエネルギーを抜くときは、「口から抜く」ようにすると良いでしょう。

例外として、『こめかみ』『チャクラ』からは比較的エネルギーが抜きやすいですが、チャクラの位置は個人差が大きく、書籍やネットで出回っている情報は非常に不正確なので、注意してください。

なお、目・耳・鼻など、穴が2つある箇所の場合、エネルギーの詰まり方によって、

「両方の穴から同時に抜く」

「一方の穴から抜き、終わったらもう片方の穴から抜く」

「交互に少しずつ抜く」

「穴の奥で絡まっているのを解きながら抜く」

と、効果的なアプローチが異なります。

エネルギーを知覚しながら糸を入れていくことで、詰まり方を認識でき、適切な方法を選べるようになりますが、これができるようになるためには、どうしてもある程度の経験が必要です。

なので、慣れないうちは、「とりあえず同時に抜いてみて、もし途中で違和感（エネルギーの歪み）を感じたら片方ずつ抜くアプローチ法に切り替える」というやり方にすると良いでしょう。

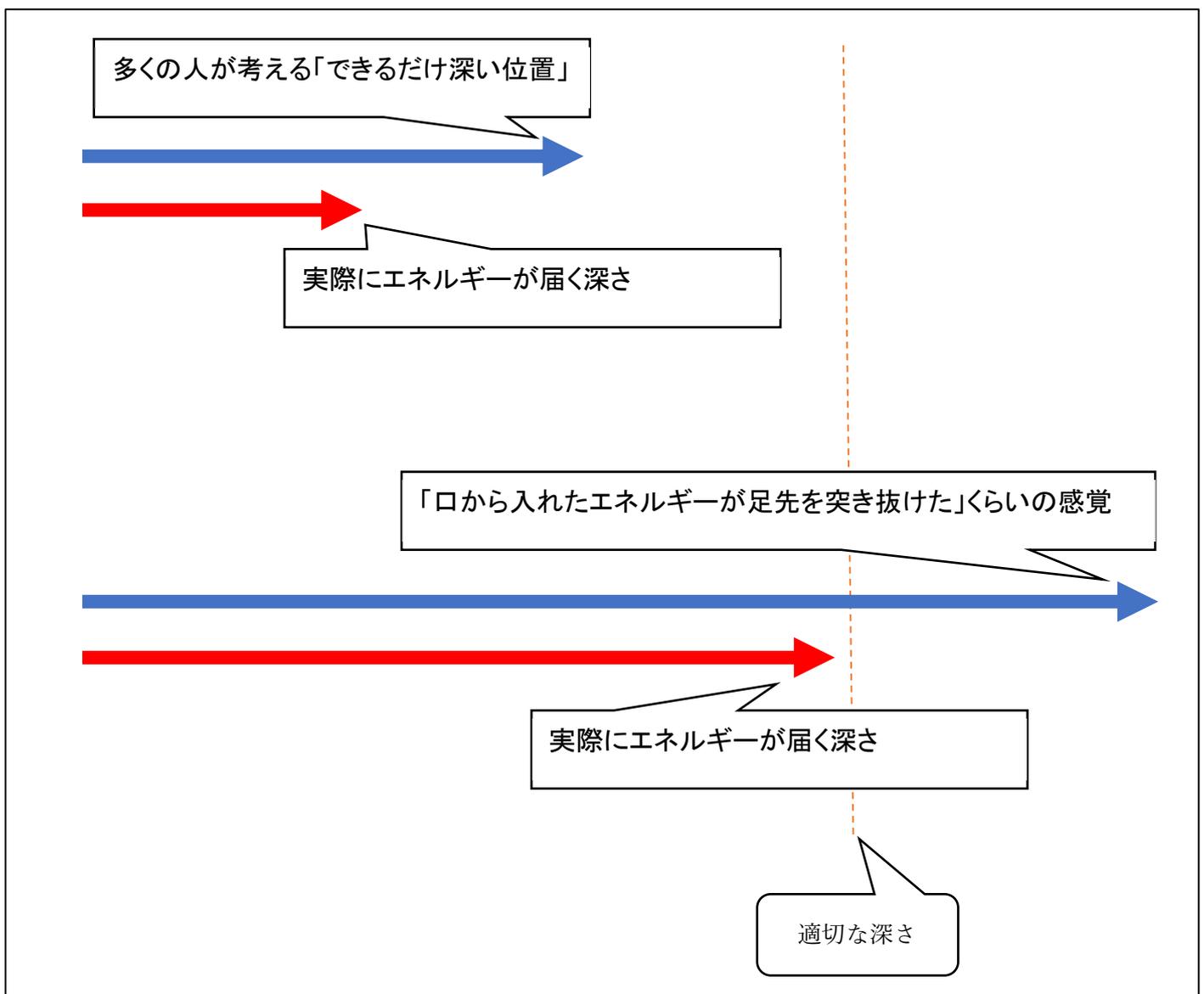
### 3.4 エネルギーの糸を入れる際のポイント

エネルギーの糸を体中に張り巡らせる際には、「できるだけ深く」「細かく」広げましょう。

体内のエネルギー経路の形は個人差が大きく、まっすぐだったり、曲がりくねっていたりします。

そのため、単純に直線的に伸ばすだけでなく、上下左右・奥行き・蛇行・釣り針状・捻りながら等、**施術相手の体内エネルギー経路の形に添ってエネルギーの糸を広げていくのが理想です。**

また、人間の体内エネルギーや、不要なエネルギーには、かなり大きな抵抗（弾力）がありますので、**適度な感覚よりもかなり深めにエネルギーを入れることで、ようやく、ちょうどよい加減になります。**



### 3.5 エネルギーの糸を入れた後のポイント

十分にエネルギーの糸が広がったら、  
その次は、エネルギーの糸に、不要なエネルギーが染み込むのを、しっかりじっくり待ちましょう。

あまりにも引き抜くのが早すぎると、  
ネガティブなエネルギーを絡め取る前に抜いてしまうことになり、ワークの効果が半減してしまいます。

抜くのが遅すぎても人体に害は無いので、練習の時点では、特にじっくり時間をかけるようにしましょう。

慣れてくると、『「もうこれ以上はエネルギーの糸に取まりきれない」という感覚』が分かるようになります。

### 3.6 エネルギーの糸を引き抜く時のポイント

エネルギーの糸を抜く際には、ゆっくり抜くことを心がけましょう。

急いで引き抜くと、それだけ施術相手のエネルギー体に負荷をかけることになります。

また、エネルギーの糸を抜く際にも、直線的に抜くのではなく、  
施術相手の体内エネルギー経路の形に添って抜くようにしましょう。

#### [スキルアップ!] 効果的なエネルギーの糸の入れ方

以下の点に気をつけて、エネルギーの知覚に注意を払いながら、エネルギーの糸を入れてみてください。

- 「体内エネルギー経路の形」
- 「エネルギーの糸を入れる深さ」
- 「エネルギーの糸に、不要なエネルギーが十分に染み込むまでの時間」

## (コラム) その他のポイント

不要な残留エネルギーは、目に見えないながらも、『質量のようなもの』『重さのようなもの』があります。

そのため、このエネルギーには、「床に溜まる」「地面に向かって落ちる」という性質があります。

つまり、

「口からエネルギーを抜く際には、下を向いて抜くとやりやすい」

「性器からエネルギーを抜く際には、下に落とすように抜くとやりやすい」

ということです。

また、エネルギーワークに慣れてくると、『エネルギーの圧縮』を行うことができるようになります。

感覚的には、「羽毛布団を仕舞う時に、布団圧縮袋に詰め込むような感じ」といったところでしょうか。

こうした性質を使いこなせるようになると、

「施術相手の体内でリアルタイムに圧縮をかけ、より多くの量を、少ない負荷で抜く」

「抜いた際に、数回分をまとめて溜めておいて、後で一度に浄化する」

などといったことができるようになります。

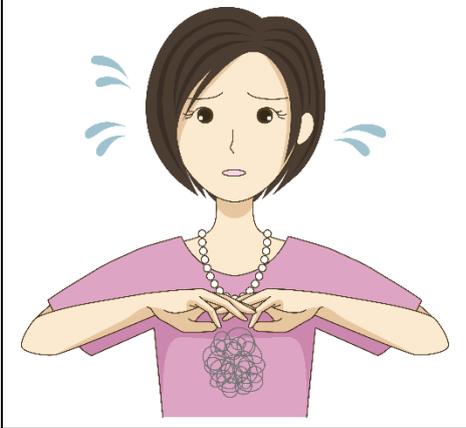
・・・なお、ここまで、『不要なエネルギー（残留エネルギー）』とひとまとめに書いてきましたが、その実体は、様々な種類の複合エネルギー体であり、それぞれのエネルギーの性質や特性はバラバラです。

例えば掃除の際に、同じ『汚れ』というくくりであっても、その中で「雑巾だと処理しやすいもの」や「掃除機だと処理しやすいもの」などといった違いがあるように、エネルギーデトックスワークにおいても、対象によって効果的なアプローチが異なるのです。

幸い、この部分も【BLESS YOU】ブレスレットが自動的にサポートしてくれるので、あまり意識する必要はありませんが、もしブレスレット無しで効果的なワークを行おうと思ったら、何種類ものエネルギーを使い分けて施術を行う必要があります。

### 3.7 浄化のやり方

『エネルギーデトックスワークで抜いた不要なエネルギー』は、例えるなら「油汚れ」のような感じで、パワーストーンなどに対して行う浄化と異なり、エネルギーワーク(レイキ等)で対処するのがかなり大変です。

		
浄化の一般的なやり方 (パワーストーン：楽々)	浄化の一般的なやり方 (抜いたエネルギー：大変)	ツールを使った場合の浄化 (抜いたエネルギー：楽々)

サイトには以下のように書いてありますが、これはあくまでも「とりあえずの目安」であり、**実際には、エネルギーの性質上、レイキや流水・塩水だけで、抜いたエネルギーを完全浄化するのは不可能**です。

(一般的なやり方で、『エネルギーデトックスワークで抜いた不要なエネルギー』を浄化する場合の目安)

レイキ → 10分~30分 (ヒーラーの力量による)

流水で手を洗う → 15分程度

塩水に手を浸ける → 20分程度

そのため、現実問題として、**一般的な人が、エネルギーグッズのサポート無しで完全浄化を行うのは、まず無理**です。

「この問題を解決するために、【BLESS YOU】ブレスレットを創ることにした」といっても過言ではありません。

もちろん、経験を積み、良質なアチューンメントを受け、エネルギーワークを極めていくことで、最終的には、エネルギーワークだけで、ブレスレット無しでの完全浄化ができるようになりますが、それでも大変(かなり消耗するし、面倒)なので、可能な限りツールを使うことをおすすめします。

浄化を行う際には、ブレスレットを付けた状態で、『抜いたエネルギー』に対して、「浄化します」と宣言してください。

この際、声に出す必要は無く、心の中で思う（意図する）だけで構いませんが、エネルギーワーク初心者の方は、ある程度慣れるまでは、声に出して宣言するとやりやすいでしょう。

また、『抜いたエネルギー』に対して、4・5回、手で払うことでも浄化できます。  
（テーブルのほこりを払うような感じ）

この場合も、心の中で浄化を意図（宣言）すると、より効率的に浄化を行うことができます。

#### 《ワーク》 ブレスレットの有無による浄化効果の違い

（※このワークは、3章終了時にまとめて行って構いません）

最初に、ブレスレットを付けずに、『抜いたエネルギー』に対して『浄化』を行い、浄化前後のエネルギーを感じてみてください。

その後、ブレスレットを付け、『浄化したはずの、抜いたエネルギー』に対して『浄化』を行い、再度、浄化前後のエネルギーを感じてみてください。

### 3.8 ヒーリングの併用について

エネルギーデトックスワークと、ヒーリング（エネルギーワーク）とを、交互に何度も連続して行うことで、**施術の効果が大幅に上がります。**

これは、「焦げ付いた鍋をきれいにする際、擦るのと、水に浸けるのとは、交互に行うと汚れが落ちやすい」というのと似たような原理によるものです。

ブレスレットは、以下のヒーリング機能を備えています。

- 『不要なエネルギー（残留エネルギー）のあぶり出し用のヒーリング』
- 『ワーク後の仕上げ用のヒーリング』

ヒーリングを行いたい場合、ブレスレットを付けた状態で、対象の場所に手をかざして、「ヒーリングを行います」と宣言してください。

この際は、浄化と同様に、声に出す必要は無く、心の中で思う（意図する）だけで構いません。

『ワーク後の仕上げ用のヒーリング』は、必ずしも行わなくても大丈夫ですが、特別な理由が無い限りは、ヒーリングで締めることをおすすめします。

なお、あくまでこのヒーリング機能は「エネルギーデトックスワークのためのもの」ですので、一般的な癒し目的などの場合は、別途、他のエネルギーワークを使用してください。

#### 《ワーク》 意図だけで複数のエネルギーを流し分ける

このワークは、『エネルギーを流す役』『エネルギーを受け取る役』の、2人のペアで行います。

エネルギーを流す役の人は、声に出さず、意図だけで、『あぶり出し用のヒーリング』と『仕上げ用のヒーリング』を流し分けてみましょう。

受け手は、それぞれのエネルギーの違いについて、どんな感覚がするかを流し手に伝えてください。

### 3.9 繰り返しの回数について

「エネルギーデトックスワークとヒーリングを、交互に何度も繰り返すといいですよ」と言うと、たいていの人は、2～3回行ったところで、「たくさん回数を繰り返したつもり」になって満足してしまいます。

しかし、この『繰り返し』が本当の効果を発揮するのは、10回・20回と繰り返した場合です。

・・・とはいえ、「10回・20回と繰り返せばいい」と分かっているけども、たいていの人は、なかなかそこまで続けることができません、

だからこそ、「お金を受け取って仕事として対応してくれるセラピストのセッション」には、価値があるのです。

仮に、『エネルギーデトックスワーク+ヒーリング』の1セットに3分掛かるとすると、1回のセッションで、目・耳・鼻・口の4カ所に対して、以下の回数、施術ができます。

- 60分コースの場合 : 各箇所5回ずつ (60÷(3×4))
- 120分コースの場合 : 各箇所10回ずつ

実際には、雑談などの時間も考慮する必要がありますが、慣れると施術が早くなるので、同じ時間枠でもっと多くの回数をこなすことができるようになります。

もちろん、技術の向上によって、エネルギーデトックスワーク1回当たりの施術効果も高まるため、セラピストの力量差によって、最終的な施術効果は大きく違ってくることになります。

#### [スキルアップ!] 繰り返し施術を行う

エネルギーデトックスワークと、ヒーリングを、繰り返し何度も行ってみましょう。

回数を重ねるに伴い、1回あたりの施術効果が飛躍的に高まっていくのを感じてみてください。

(※ここまでワークをスキップしてきた場合、この時点でまとめてワークを行ってください)

## 4 エネルギー的な施術を行う際の「リスク」について

---

### 4.1 抜いたエネルギーの取り扱いについて

『エネルギーデトックスワークで抜いた不要なエネルギー』は、速やかに浄化することが望ましいものです。

抜いたエネルギーを「凝視」すると、それは、少なからず、目からそのエネルギーを取り込むことになり、抜いたエネルギーの間近で「呼吸」すると、口や鼻からそのエネルギーを取り込むことになります。

「再度抜けば良いだけの話」、とはいえ、避けられるのであれば無駄に取り込む必要はありません。

### 4.2 プロテクションについて

無防備な状態でエネルギー的な施術を行うと、相手が抱えている『エネルギー的な問題』を取り込んでしまうことが、多々あります。

『プロテクション (防御)』を意識して施術に臨むことで、ある程度、エネルギー的要因からのダメージを減少させることができます。

ただし、**プロテクションは、決して、万能では無い**ので、過信しないことが大事です。

プロテクションを強化するためには、『心の持ち方』『考え方』を整える（自己犠牲精神を手放す）他、エネルギーワークのアチューンメントを受けるなどが効果的です。

#### 《ワーク》 プロテクションを行う

**このワークは、必ず、講師の指導のもとに行い、終了後は速やかにヒーリングを受けてください。**

「プロテクションの意図をしていないとき」と、「プロテクションを意図して行ったとき」とで、エネルギー的な攻撃によるダメージの違いを体験してみましょう。

### 4.3 エーテルコードについて

『エーテルコード』とは、「非物質の意識の繋がり」のことで、このコードを通じて、見えない世界でエネルギーのやりとりが行われます。

エーテルコード自体は、決して悪いものではなく、むしろ、ヒーリングなどを始めとしたエネルギーワークを行う際には、必要なものです。

とはいえ、セッション終了後も無駄にエーテルコードが繋がっていると、コードを通じてエネルギーを吸われたり、相手のエネルギー的問題を受け取ったりすることになりかねないので、セッション終了後は、忘れずにエーテルコードのカットを行きましょう。

エーテルコードのカットも、他のエネルギーワークと同様、『意図』によって行うもので、「不要なエーテルコードをカットします」と宣言すると、コードを切ることができます。

(ただし、いわゆる「縁(えん)」「悪縁」などは、別の仕組みに由来するものなので切れません。)

エーテルコードのカットを強化するためには、『他者との距離感』を整える(健全な離別感を養う)他、エネルギーワークのアチューンメントを受けるなどが効果的です。

#### 《ワーク》 エーテルコードのカットを行う

まず、エネルギー知覚の要領で、「今、自分にどれくらいコードが繋がっているか」を探ってみましょう。

続いて、「不要なエーテルコードをカットします」と宣言し、エーテルコードのカットを行い、その後、再度、エーテルコードが残っているかどうかをチェックしてください。

エーテルコードが残っている場合、「コードの先は誰に繋がっているか」を探ってみてください。